

平成22年国東市消防団出初式

平成22年の新春を飾る国東市消防団（池田一彌団長・1,014人）の出初式が、1月10日（日）午前9時から国東陸上競技場で行われました。池田団長をはじめ市内4つの方面隊から491人の消防団員が出動し、終始きびきびした規律ある動作で各種の点検を受けました。

開式に先立ち、前日急逝した山本博幸副団長へ全員で黙とうをささげました。

式では、池田団長の人員報告に続き、点検者（野田侃生市長）・副点検者（高木正史副市長）が来賓の皆さんと中隊毎に団員の人員・服装を点検した後、国東方面隊（指揮者・本田勝久第8分団長）・安岐方面隊（指揮者・植田稔第13分団長）による停止間、国見方面

隊（指揮者・木村英樹第2分団長）・武蔵方面隊（指揮者・栗林和成第12分団長）による行進間の小隊訓練点検が行われました。続いて、第4分団第2部・第7分団第2部・第10分団第1部・第15分団第2部による小型ポンプ操法、第16分団第2部によるポンプ車操法の点検が行われました。

団員の皆さんは日ごろの訓練の成果をいかに発揮し、会場に訪れた皆さんから大きな拍手が送られました。

池田団長を先頭に分列行進をした後、野田市長の講評があり、消防活動に貢献のあった皆さんに対しての表彰がありました。大分県知事代理の小野壽久県生活環境部消防保安室長、磯崎陽輔参議院議員、小野弘利、三浦公両県会議議員、木森耕

治国東警察署長、諸富忠市議会議長が祝辞を述べた後、受賞者を代表して清成隆第9分団分団長と猪俣太志向田区区长が謝辞を述べました。

谷口安幸区長会長の万歳三唱、井門豊彦消防長による火の用心三唱の後、会場を野球場に移して放水点検が行われ点検のすべてを終了しました。

点検会場には、大勢の皆さんが見学を訪れ、消防団員の士気旺盛な規律ある動きに終始真剣に見入っていました。

